



10月号

令和4年9月26日

横浜市立 星川 小学校

校長 羽山 悟

TEL.332-2101 FAX.331-5052

WEB ページ <http://www.edu.city.yokohama.lg.jp/school/es/hoshikawa/>



『星川～古からの時空～』

校長 羽山 悟

朝夕は、涼しさをを感じる季節となりました。昨今、地球温暖化の影響で秋は短くなってきたとも言われています。だからこそ、貴重な色々な秋を大切に楽しみたいものです。さて、先日、150年に渡る学校の歴史だけでなく、星川の「まち」の歴史を少し調べてみました。星川の地名は、平安時代の ※和名類聚抄 にも記されていて、松や杉の木立で鬱蒼としており昼なお暗く、川の流れに星影を映したといわれたことに由来する説があります。縄文時代から続く古い土地だそうです。星川という川は、私が知る限り存在していません。そんなイメージが星川の名前になっているのは、たいへん面白いと思います。

また、真福寺門前にある地藏尊は、和田町駅近くの山崎台（旧星川小学校跡付近）にあった 幻の寺、浅間宝寺 跡に祀られていた「満願地藏尊」です。明治初年（1868）、浅間宝寺跡が星川小学校の建設用地になったため、真福寺門前に移されたそうです。幻の寺、浅間宝寺は、鎌倉時代初期、平家の落人をかくまったことで焼き討ちにあったとされています。

星川小学校に流れる歴史は、はるかかなたの古から連なるものです。150年の長きに渡り、地域の人々に支えられながら、この地にある星川小学校です。そのさらに前に連なる、人々やまちの様子に思いを馳せた今年の秋です。

※『和名類聚抄』は、平安時代中期に作られた辞書である。承平年間（931年 - 938年）、勤子内親王の求めに応じて源 順 が編纂した。略称は和名抄。

引用：ウィキペディア、和田町商店街協同組合等